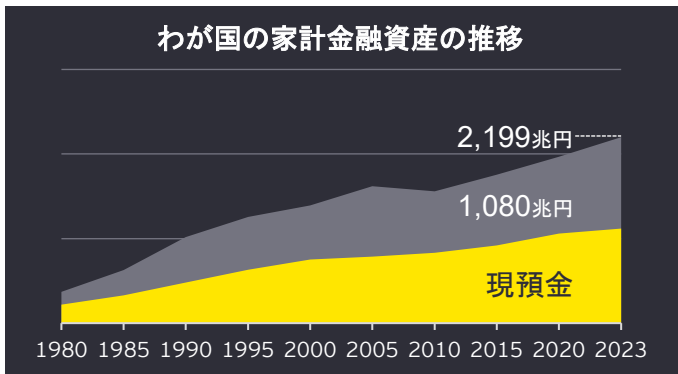


Why Japan

ビジネス面

収益獲得(+)

- ▶ 投資家の獲得
 - ▶ 世界有数の機関投資家の存在
 - ▶ 世界有数の家計金融資産の存在(約2,000兆円)
 - ▶ 預貯金が半数以上(年金や保険を含めると8割)の中、「老後2,000万円問題」などにより「貯蓄から投資」へのシフトが進み資産運用へのニーズが拡大(NISAの恒久化などによる後押し)
 - ▶ 機関投資家などにおける、外国投資・オルタナティブ投資・ESG投資の拡大
 - ▶ 金融機関における市場営業の必要性の向上(銀行:預貸率の低下、保険:本業の収益性の低下)
- ▶ 投資先の獲得
 - ▶ 世界有数の大企業(及び上場株式市場)の存在、中堅・中小企業数の多さ(上記を支える、世界4位のGDPの経済規模)
 - ▶ 政府によるスタートアップ支援策(「投資10倍」など)
 - ▶ 官民のGX・DX推進、トランジション・ファイナンスなどによる資金ニーズ



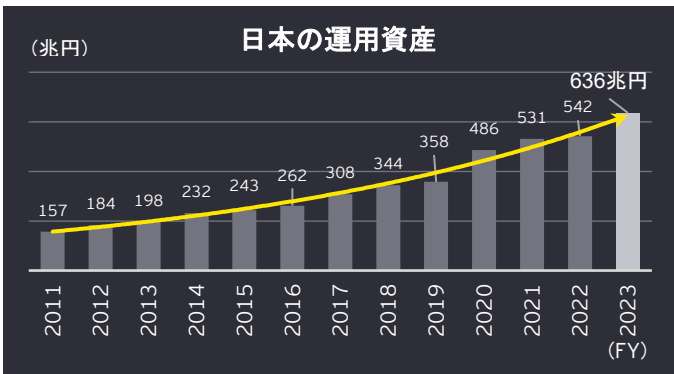
出所: 金融庁「日本でのビジネス機会」、www.fsa.go.jp/internationalfinancialcenter/why-japan/business-opportunities/、日本銀行「資金循環」、www.boj.or.jp/statistics/sj/index.htm (2024年8月13日アクセス) を基に EY が作成

コストの安さ(-)

- ▶ オフィス賃料、ビジネスコストなどの良さ
- ▶ 政府による補助金・減税などの支援策

ビジネス環境

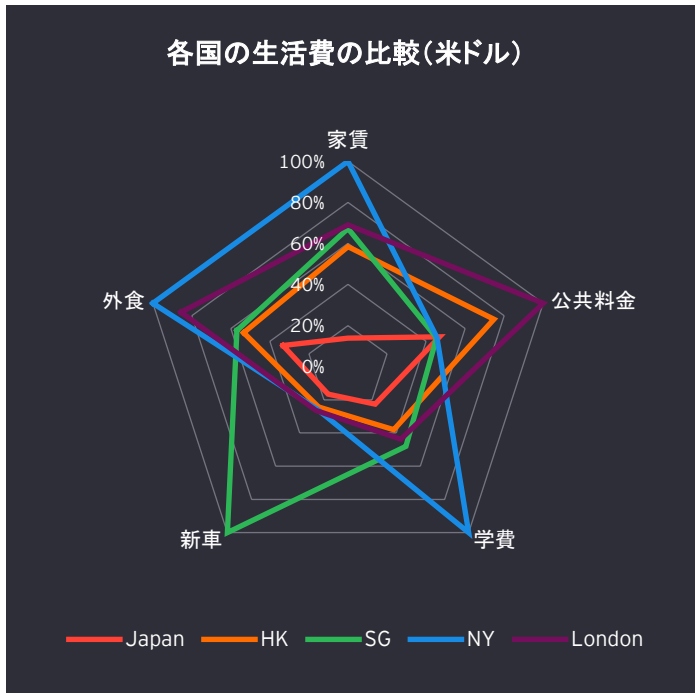
- ▶ 「資産所得倍増プラン」「金融・資産運用特区」の創設による政府による後押し(政府による支援<英語ライセンス登録、在留資格緩和、銀行口座開設支援など>)
- ▶ 政府や民間企業による、カーボンニュートラルなどへのコミットメント(TCFD、PRIなど、各種取組への世界有数の賛同企業数)
- ▶ 金商法改正などによる、ビジネスのしやすさの向上(アウトソーシングの許容拡大など)
- ▶ 安定的な法の支配、規制当局の対応の透明性
- ▶ 世界有数の取引量を誇る市場



注: 数値は投資運用会員の契約資産
出所: 日本投資顧問業協会「統計資料」、jiaa.or.jp/toukei/ (2024年8月13日アクセス) を基に EY が作成

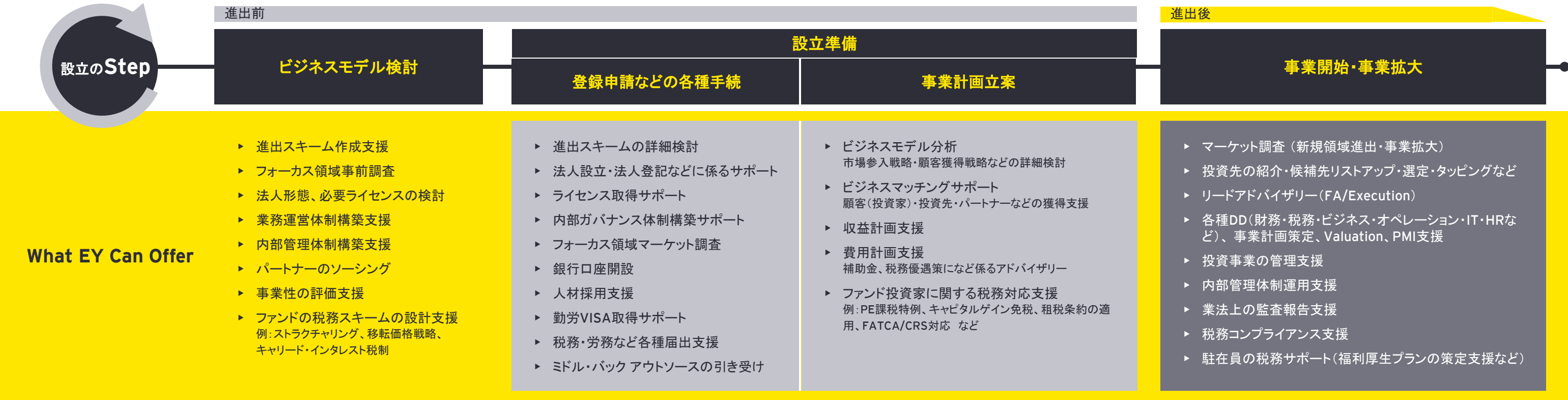
生活環境面

- ▶ 治安の良さ
- ▶ 衣食住の環境の良さ・クオリティの高さ(住みやすさと対比して安い)



出所: 金融庁「良好な生活環境」、www.fsa.go.jp/internationalfinancialcenter/why-japan/living-environment/ (2024年8月13日アクセス)

Why EY



日本進出企業さま向けの専門チームを組織しており、ニーズに応じてワンストップで各種のサービスの提供可能。進出後の種々のサポートも幅広く対応。

Contact



長谷川 敬 Takashi Hasegawa
Japan アセットマネジメントセクターリーダー

takashi.hasegawa@jp.ey.com



正木 一裕 Kazuhiro Masaki
Consulting
パートナー

kazuhiro.masaki@jp.ey.com



倉谷 樹人 Mikihiro Kuraya
TAX
パートナー

mikihiro.kuraya@jp.ey.com



木下 智幸 Tomoyuki Kinoshita
Strategy and Transactions
パートナー

tomoyuki.kinoshita@jp.ey.com



Joe Iannace ジョー イアナーチェ
Assurance
パートナー

joe.iannace@jp.ey.com



白川 達朗 Tatsuro Shirakawa
Consulting
ディレクター

tatsuro.shirakawa@jp.ey.com

EY | Building a better working world

EYは、「Building a better working world ～より良い社会の構築を目指して」をパーパス(存在意義)としています。クライアント、人々、そして社会のために長期的価値を創出し、資本市場における信頼の構築に貢献します。

150カ国以上に展開するEYのチームは、データとテクノロジーの実現により信頼を提供し、クライアントの成長、変革および事業を支援します。

アシュアランス、コンサルティング、法務、ストラテジー、税務およびトランザクションの全サービスを通して、世界が直面する複雑な問題に対し優れた課題提起(better question)をすることで、新たな解決策を導きます。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、ey.com/privacyをご確認ください。EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供することはありません。EYについて詳しくはey.comをご覧ください。

EY Japanについて

EY Japanは、EYの日本におけるメンバーファームの総称です。EY新日本有限責任監査法人、EY税理士法人、EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社などから構成されています。なお、各メンバーファームは法的に独立した法人です。詳しくは、ey.com/ja_jpをご覧ください。

© 2024 EY Japan Co., Ltd.
All Rights Reserved.

ED None

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスを行うものではありません。EY Japan株式会社および他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

ey.com/ja_jp

日本進出

設立のステップとEYのサービスガイド

EY JapanのWealth and Asset Management (WAM)セクター

セクターフォーカス

EY Japanは、各業種に特化した組織(セクター)を組成し、EYのグローバルチームとも緊密に協働しながら、ナレッジの蓄積を図っています。EY JapanのWAMセクターは、資産運用業界での経験豊富なプロフェッショナルで構成されており、専門的な知見と最新のナレッジを基に、クライアント企業のLong-term Value(長期的価値)の創出に貢献します。

グローバル

EYの強みは、世界で2万人を超える資産運用プロフェッショナルのグローバルネットワークを活用して、各国の専門家が常時連携し、クライアントの課題解決に向けた最新かつ最良のソリューションを提案できることです。国内外における新たな規制や実務などに対しても、最新の情報を収集・共有し、それぞれのクライアントに最適な対応策を提供しています。

Global Wealth & Asset Management network プロフェッショナル人数



実績

EYは、最新のテクノロジーやこれまで培ってきた知見を通して、国内外で監査、税務、コンサルティング、ストラテジー・アンド・トランザクションに関する各種サービスをワンストップで提供します。また、SOCやGIPSなど、ウェルス&アセットマネジメントに関連するさまざまなサービスもグローバルに展開。グローバルな資産運用会社をクライアントに抱え、国内外の大手企業に高付加価値かつ高品質なサービスを提供しています。

